

# 第 56 回 逗子市地域対抗球技大会要項

☆☆

1. 趣 旨      スポーツを通して、健康明朗な心身の育成と各地域の親睦を図るとともに、市民スポーツ活動の普及振興に寄与する。
2. 主 催      公益財団法人逗子市スポーツ協会
3. 主 管      逗子市地域体育団体協議会  
                桜山体育会      小坪体育協会      久木体育会      沼間体育会  
                逗子体育会      池子体育会      新宿体育会      山の根体育会
4. 協 力      逗子市ソフトボール協会      逗子市テニス協会      逗子バドミントン協会  
                逗子卓球協会                      逗子バレーボール協会  
                逗子ターゲット・バードゴルフ協会
5. 競技種目及び会場  
    1) ソフトボール                      池子の森自然公園野球場  
    2) テニス                              第一運動公園テニスコート  
    3) バドミントン                      逗子アリーナ  
    4) 卓球                                逗子アリーナ  
    5) バレーボール                      逗子アリーナ  
    6) バードゴルフ                      沼間3丁目広場（コミセン前）
6. 期 日      令和7年11月9日（日）  
                ソフトボール・テニス・バードゴルフは、雨天の場合中止（延期なし）する。
7. 開会式  
    1) 総合開会式は、午前9時より逗子アリーナのメインアリーナにて、バドミントン・卓球・バレーボールの選手監督及び地域役員の参加により行う。  
    2) ソフトボール・テニス・バードゴルフの開会式は、午前9時から各会場にて行う。
8. 競技方法  
    1) 地域対抗競技とし、各地域1競技種目1チームとする。  
    2) 本要項に規定されている条項以外は、本年度各競技種目規則を準用する。
9. ふるさと出場  
    市内に住所を有しない者でも出場地域に帰省地がある場合には、出場を認める。  
    ただし、競技規則11. その他7) に規定する選手補充と合わせて、登録選手上限の1/4を超えない範囲とする。

## § 競技規則 §

### 1. ソフトボール（男子）

- 1) チーム編成 監督1人 選手15人以内 ※高校生以上とし、女子も認める。
- 2) 試合方法
  - ア) トーナメント戦とし、3位決定戦を行う。1試合65分7回までとする。
  - イ) 延長は時間内までとし、なお決定しない場合は抽選とする。  
ただし、3回以降15点以上の差、4回以降10点以上の差、5回以降7点以上の差が出来た時は、コールドゲーム成立とする。
  - ウ) 試合球は、ゴム製検定3号球を使用する。  
バットは、オフィシャルバットを使用すること。
  - エ) 金属スパイクの使用は禁止する。捕手は必ずマスクをつけること。
  - オ) 監督・選手以外はベンチに入らないこと。

### 2. テニス（団体戦）

- 1) チーム編成 監督1人 選手8人以内
- 2) 試合方法
  - ア) 試合は、ダブルス3組（男子・女子・混合それぞれ1組）で行う。
  - イ) リーグ戦後、順位決定戦を行う。  
リーグ戦において、勝敗が同じ場合は、得失ゲーム差で決定する。得失ゲーム差も同じ場合は、代表者による「ジャンケン」で決定する。  
順位決定戦においては、勝敗が決した時点で打ち切りとする。
  - ウ) 6ゲーム先取ノーアド方式で行う。
  - エ) 使用球は、ダンロップイエロー球とする。
  - オ) 選手は必ずテニスシューズを履くこと。
  - カ) 単独地域でチーム編成が困難な場合は、混成チームでの参加を認める。  
その場合、混成チーム自体はオープン参加の扱いとするが、混成チームとの対戦結果は、地域チームと同じ扱いとする。
  - キ) 競技規則 11. その他7) に規定する選手補充は認めない。

### 3. バドミントン（団体戦）

- 1) チーム編成 監督1人 選手14人以内
- 2) 試合方法
  - ア) 試合は、混合ダブルスまたは女子ダブルスの合計5組とする。
  - イ) トーナメント戦とし、順位決定戦を行う。
  - ウ) 21ポイント2ゲーム先取とし、ファイナルゲームは15ポイント先取とする。  
2回戦目以降は、どちらかのチームが3試合先取した後は、21ポイント1ゲームとする。すべて延長なし。

## 4. 卓球（団体戦）

1) チーム編成 監督1人 選手12人以内

2) 試合方法

ア) 試合は、混合ダブルスまたは女子ダブルスの合計5組とする。

なお、1組は『ラージボール』で行う。

イ) リーグ戦後、順位決定戦を行う。

ウ) 1マッチは、11点5ゲーム、3ゲーム先取で行う。

※『ラージボール』は1マッチ11点3ゲーム、2ゲーム先取で行う。

エ) 硬式は、白40mmボール、ラージボールは、黄44mmボールを使用する。

オ) タイムアウト制は適用しない。

カ) 単独地域でチーム編成が困難な場合は、混成チームでの参加を認める。

その場合、混成チーム自体はオープン参加の扱いとするが、混成チームとの対戦結果は、地域チームと同じ扱いとする。

## 5. バレーボール（男女混合9人制）

1) チーム編成 監督1人 選手15人以内（女性6人以上）

2) 試合方法

ア) トーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。

ただし、参加が4チーム以下の場合は、リーグ戦とする。

イ) コート18×9m、ネットの高さ2m10cmとし、試合球は4号検定球とする。

ウ) 21点3セットマッチとする。

エ) 選手交代は、1セットにつき3人までとする。

オ) 同時にコートに入れる男性は3人までとする。

カ) 男性は、スパイク、ブロックを禁止する。また、サーブはアンダーサーブとする。

キ) サーブは、1本とする。

ク) 単独地域でチーム編成が困難な場合は、混成チームでの参加を認める。

その場合、混成チーム自体はオープン参加の扱いとするが、混成チームとの対戦結果は、地域チームと同じ扱いとする。

ケ) 競技規則11. その他7)に規定する選手補充は認めない。

## 6. ターゲット・バードゴルフ（団体戦）

1) チーム編成 監督1人 選手3人以上5人以内

2) 試合方法

ア) 個人で競技し、各地域競技者の上位3人の合計打数により順位を決める。

イ) クラブ（ピッチングウェッジ）・マットは、各自持参が望ましい。

ウ) ローカル・ルールを適用する。

エ) 9ホール×2の18ホールで行う。

## 7. 参加資格

- 1) 出場する地域に、令和7年10月1日以前から居住、または帰省地がある中学生以上の者とする。
- 2) 1人1競技種目とする。

## 8. 表彰

- 1) 総合優勝地域に優勝杯（持ち回り）と賞状を3位まで賞状を授与する。
- 2) 各競技種目の優勝地域にトロフィー（持ち回り）と賞状を授与する。

## 9. 順位及び順位点

- 1) 競技別順位点は、1位8点・2位7点・以下順次1点差とする。
- 2) 総合順位は、種目別順位点を合算して決定する。  
ただし、同点のときは上位成績の多い地域を上位とする。
- 3) 複数地域で構成された混成チームには、構成地域に各1点を加える。

## 10. 参加申込及び組合せ

- 1) 11月5日（水）午後7時までにメンバー表の提出を以って参加申込みとする。
- 2) 同日午後7時から逗子アリーナ第一会議室において『組合せ抽選会』を行う。

## 11. その他

- 1) 組合せ以後の参加申込みは受け付けない。
- 2) メンバー変更は、大会当日、各競技種目開会式前に、競技種目審判長に監督が届け出て許可を受ける。
- 3) 参加資格に違反する者が発見された時は、発見時を以って失格とし、それ以前の試合には遡らない。また、失格した地域の競技種目得点は、0点とする。
- 4) 異議の申し立ては、資格問題は主催者に、競技上の問題は競技種目審判長に監督が行うこと。監督以外の異議申し立ては一切受け付けない。
- 5) 屋外競技の雨天中止は、午前7時を以って決定する。
- 6) 競技中における雨天時対策は、主催者と当該競技団体と協議のうえ、指示する。
- 7) 参加奨励救済処置として、登録選手上限の1/4を越えない範囲で市内他地域からの選手補充を認める。その時は、所属地域の理事長の承諾を得ること。
- 8) ふるさと枠として、出場する地域に帰省地がある選手の参加を認める。その場合、他地域からの選手補充と合わせて、登録選手上限の1/4を超えない範囲とする。
- 9) 参加地域が半数以下の種目については、次回から種目の変更を含め検討する。